

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール(四季の家)

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I. 理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	理念をリビングに掲示し、職員で共有している。理念の実践に向けて日々努力している。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	地域のコミュニティを利用して他グループホームや地域の方と交流、地域の方にも避難訓練等参加していただいていたが、コロナ禍となり感染拡大防止のため交流は行っていない。	ドライブを兼ねて地域での催し物等あれば車から見に行く。 人数を制限して行く。 人が少ない公園へ行く。 自宅や生家周辺をドライブする。 満倉の川も綺麗になっている。 ディサービスが詳しく知っているので、聞いてみるのもいいと思う。 ひまわりやコスモスの時期には見に行く。		
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	2ヶ月毎に、ご家族・地域の方や民生児童委員をメンバーとし、運営推進会議を開催。活動内容を報告したり、サービス向上にむけての意見等いただいたりしていたが、コロナ感染拡大により、書面での報告が主となり、職員のみでの会議開催が多くなった。	書面上での報告が多いですが内容は伝わってきますか→他の事業所と比べて書いている方(役場)十分わかると思います。 集まれないのは仕方ない。 機関誌を見て暮らしぶりが分かり、感謝しています。(ご家族)		
4	市町村との連携	市町村担当者とは頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	運営推進会議に高齢者支援課職員の出席により、取り組みについての助言等や指導等いただいている。困りごとがあればすぐに担当者に相談している。	以前はグループホームでの集まりがあったが、コロナ感染予防のため、現在は集まれない。情報交換が出来ていない。→リモートで交流するのがよいのではないか。できることを考えていかないといけない。色々な方法での開催を考えていく。		
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎月、身体拘束・虐待防止委員会を開催し話し合っている。職員は身体拘束がどういうものか理解しており、正しいケアに取り組んでいる。玄関にセンサーをつけているものの施錠はしていない。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職場内研修等もおこないよく理解できている。 学ぶ機会について法人内、外で研修等おこなっているのでしょうか。

6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	A. 十分にできている ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	威圧的な言葉や態度、行動抑制等も含め、十分検討しながらケアに当たっている。		Ⓐ. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	学ぶ機会について法人内、外で研修等おこなっているのでしょうか。
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 十分にできている ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	法人全体での職員研修会に参加し、繰り返し学んできた。実際に成年後見制度を利用されている方もいて、後見人と会話することもある。			
8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	Ⓐ. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	契約の際、契約書・重要事項説明書について十分説明し同意を得ている。改定時にはまず電話で説明し、来訪時に再度説明。解約時にも同様に行っている。			
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	A. 十分にできている B. ほぼできている Ⓒ. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者の方には口頭や態度から判断して、ご家族は面会時に要望等伺っている。2年毎の外部評価時にはご家族へアンケート用紙を配布し、郵送にて直接、評価機関へ送付。ありのままの意見をいただき運営へ反映できていた。		A. 十分にできている ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者本人からも要望等を聞くことが出来るのではないかと思う。 あまりできていないと感じる点はどこでしょうか。今後、外部評価機関へありのままの意見を送付することがなくなる点については別の形で何か行うのでしょうか。
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	A. 十分にできている B. ほぼできている Ⓒ. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎月、管理者が法人の会議に出席し、意見を述べ提案を聞く機会を設けている。管理者より職員にも会議内容の報告があるのみで反映までには至っていない。			
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	A. 十分にできている ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	人事考課を年に2回、法人による個別懇談を年1回実施、またホーム内でも話し合いの場を設けながら、正職員・臨時職員問わず、各自が向上心を持って働けるようにしていただいている。		A. 十分にできている ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員の皆さんが働きやすい職場環境づくりが大切だと思う。
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	A. 十分にできている ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	高齢者雇用となった職員が大半を占めているが、法人内での職員研修会に参加し研鑽してきた。正職員についてはコロナ禍のため必要時のみ外部研修に参加している。		A. 十分にできている ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職場内研修と共に精神的管理(メンタルケア)も大切だと思う。

13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	地域のコミュニティを利用して他ホームとの交流を行っていたが、コロナ禍となったため現在は活動できていない。			
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人がこれまで培ってこられた出来ることに目を向け支援している。食器洗いや洗濯物たたみ等のお手伝いや言葉を引き出す工夫など感謝を伝えながら支え合う関係を築いている。			
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍ではあるが、ガラス越しでの面会やリモート通話、また携帯電話での通話等、馴染みの関係が継続できている。毎月、法人の機関誌も発行し、日常の些細なひとこまを掲載しコメントを書いて関係性が継続できるよう努めている。	ほぼできている状態なので、継続して支援をおこなっていく。		

II. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入所時のアセスメントや、日頃の会話・行動から本人の思いを汲み取り、なるべくその思いに添えるよう努めている。			
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人や家族に意向を伺い、本人の状態に合わせて3ヶ月毎、または6ヶ月毎にカンファレンスを開催し介護計画の見直しを行っている。	ご家族の意向確認はしているのでしょうか。→ご家族の意向を面会時や電話で確認している。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人、家族の意向を聞いてケアプランを作成していることは良いと思う。 コロナ禍ではあるが、家族の意向を伺うのはどのような形で行っているのでしょうか。(電話等)
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	受診や体調等日常に変化があれば、個別にケース記入し、日誌や申し送りで情報を共有している。また、それを毎月のモニタリングに反映し改善点を把握しながら介護計画の見直しに活かしている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎日の日誌やミーティングで情報共有していることは良いと思う。
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一人ひとりの状況やニーズに合わせて柔軟に対応できるよう努めている。コロナ禍であるものの遠方から面会の申し込みがあれば重複しないよう予約制で対応している。	職員会議を月に一回行い、個人のことを検討している。 本人の視点で捉え「できることの視点」で考える。何をしたいのか、何をしてもらいたいのかアセスメントが必要。		

					食事についても本人は自分が食べたいものに挑戦した。自分たちが決めつけるのではなく、自己主張はある。 ドライブも漠然と行くのではなく本人に確認することが大切。		
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	台風等の被害が予測される時は、同法人の特養へ避難し安全に過ごしていただいた。コロナ以前であれば、避難訓練時には地域の方や消防署の協力体制が図れた。また法人内の特養での保育園児との交流や様々な行事等で楽しんでいただいた。	19と同じような内容ですが、できることを支援していく。地域資源と言っても幅広くあり、その人にとって必要な地域資源を考えていく。		
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人や家族の希望する病院を受診している。受診時は家族にも協力していただいている。協力医による訪問診療もあり、医師とも連携が図れている。			
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入院時には、医師や家族と連携を図りながら、ホームでの生活状況、処方薬を連絡し、入院中は県立病院であれば地域連携室と連携を図りながらご家族と対応している。退院が決まれば退院前カンファレンスに参加し状態把握、ホームでの生活が円滑に進むよう努めている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家族、医療機関との連携は良く取れている。
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用契約書の締結時に重度化した場合における対応についての同意書をいただいている。その中には本人・家族の意向や希望に添った対応、医療との連携や尊厳を守る援助を明記し、実際に医療機関と連携しながら職員が一丸となって本人や家族の意向に添った対応が支援できている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人、家族との連携は良く取れている。
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	法人での職員研修会に参加し消防職員指導の下、心肺蘇生法やAEDの操作法等を学んでいるが、職員にも個人差があり急変時に即座に対応出来ない時もある。職員のレベルアップを図って実践力が身に付くようさらに研鑽していく。			

25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	年に2回、日中や夜間想定避難訓練を実施し、災害への取り組みを行っている。コロナ前は消防職員や地区の方にも参加いただき協力体制が取れていた。同敷地内に特養もあり、災害等あれば特養に避難できる体制が整えられている。	来月は避難訓練の実施予定であり、まだ訓練に参加していない職員を対象におこなう。大雨の時も砂防ダムが完成したので、心配がなくなった。今回の台風もなんとなかった。災害時の優先順位の判断の訓練を踏まえおこなう。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎回の避難訓練で方法を習得するしかないと思う。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	これまで歩んで来られた人生に敬意を払いながら対応させていただいているが、時には感情が先走ってしまい不快な思いをしたのでは、と反省することがある。その時々で反省しながら、相手の立場に立った対応に努めていく。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	誇りやプライバシー確保については全職員が共有している。
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日々の状態観察から一人ひとりの意向は把握しているものの、全ての意向には対応できていない。家への思いが強く絶えず「帰りたい。」という方に対しては、散歩等で気分を切り替えていただいている。それぞれの方の希望に添えるよう取り組んでいく。			
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	台所がリビングから見える位置にあり、調理する過程を楽しく観察でき、また食事前後のテーブル拭きや後片付け、食器洗い等、できることをさせていただいている。献立は法人の管理栄養士が立てているが、好みに合わせて変更し楽しんでいただいている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	食事は一番の楽しみだと思う。本人の能力、体調に合わせて手伝いができることは良い。
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	法人の管理栄養士が栄養バランスを考慮した献立をたて、本人の食事量に合わせて、バナナ等の嗜好品を追加している。水分も食事時のお茶を始め、おやつ時のコーヒーや夜間のお茶、ポカリスエット等十分提供している。			
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個別アセスメントを作成し、口腔内の状態を把握できている。毎食後、一人ひとりの力に応じて声かけや介助で口腔内の清潔が保てている。義歯は週に3回、ポリドント消毒を支援している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個々の状態に合わせた口腔ケアが出来ていて良いと思う。

31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	A. 十分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	時間を記入し、早目の声かけでトイレで気持ちよく排泄していただけるよう努めている。個々に合わせて緩下剤等使用しているが、便秘予防として朝にヨーグルト・牛乳を飲んでいただいている。		A. 十分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	排泄は大変な支援だと思う。出来るだけトイレでの排泄支援に気がつけて欲しい。
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている Ⓒ. あまりできていない D. ほとんどできていない	入浴時にはゆったり、本人のペースに合わせて楽しんでいただいているが、曜日や時間帯を決めて支援している。入浴は状態に応じて浴槽を一般浴・機械浴と分け、月～土曜日まで毎日行っているため、洗濯量が多く午前中に入浴支援を行っている。			
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	Ⓐ. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	状態を観察しながら柔軟に対応している。朝食後であっても眠そうであれば短時間ベッドでの休息や、昼寝等自由にしていただいている。それぞれの方の習慣を把握しており、夜間も安眠できるよう支援している。			
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	A. 十分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	処方箋を一人ひとりの台帳に綴っているため、すぐに確認でき、薬の目的等理解できている。服薬支援時には、顔を見て名前を確認、本人の前でさらに名前を呼んで確認し間違いがないように支援している。症状に変化があれば協力医にすぐに報告し、指示を仰いでいる。		A. 十分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	誤薬のないように十分気をつけている。
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	A. 十分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	生活歴や、日々の会話・行動から生き生き過ごしていただくためにどうすればいいか考慮しながら支援している。カラオケが趣味であったり、お手伝いや食べること、おしゃべりに楽しみを持ったりと、一人ひとりのやりたいことをしていただけるよう努めている。	お手伝い、写経、習字などの趣味活動出来る範囲でしていただく。 作品づくりもできる人、できない人がいるので職員ができる所まで準備して、本人に合わせておこなっている。		
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない Ⓓ. ほとんどできていない	季節ごとに、町内をドライブしては風景を楽しんでいただいていたが、コロナ禍のため外出支援は中止している。	地域での催し物の情報をキャッチし、ドライブ等の支援をおこなう。 本人の希望する場所へ行き、喜んでいただく。		

37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご家族の申し出により、9名の入居者中2名のみ少額の現金を預かり、職員が管理している。本人がお金を持つことの大切さは理解できているが支援には至っていない。			
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	携帯電話を所持されている方もいて、かかってきた時に会話を楽しまれている。本人から電話をかけることはなく、電話して欲しいとの要望もない。家族や知人から荷物が届いた時には、必ず連絡し本人とも通話していただいている。			
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	共用スペースには、四季の移ろいを感じることができるように、窓に向かってソファを配置、室内には手作りの季節感あふれる飾り付けや、季節の花々を生けながら、心豊かに暮らしていただけるよう支援している。安全面にも配慮し自由に行き来できるようにしている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	共有スペースには不必要な物はなくとも良いと思う。

IV. 本人の暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)

40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	言動や行動等から、一人ひとりの意向を把握し、その思いに添えることができるよう努めている。おやつに嗜好品を取り入れたり、家への思いが強ければ面会をお願いしたり、散歩等で気分を紛らせていただいたり支援している。			
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居時のアセスメント表や、本人・家族から得た情報を参考にして支援できている。			
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎日のバイタル測定や、症状に合わせて、主治医や協力医に報告し早期の受診対応により体調安定に努めている。環境を整えながら安全面でも配慮している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎日の体調、様子観察は大切だと思う。

43		本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている	A. 十分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	アセスメント表の活用や本人・家族から得た情報を参考にして支援できている。就寝時や起床時の着替えや、アルバムを見てから心安らかに就寝等、それぞれの習慣が継続できている。			
44	生活の継続性	本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができている	A. 十分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	愛着のある寝具類や衣服、家族写真、アルバム、テレビ等、希望があれば持参して身近に置いていただいている。		A. 十分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	自分の馴染みの物や大切にしている物を自室に置くスペースがあることは良い。
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない Ⓓ. ほとんどできていない	コロナ禍となり、外出は通院以外行っていない。以前は同法人の様々な行事に参加したり、地区の盆踊り等にも参加していた。	できるだけ少人数で戸外へ出掛け気分転換をする。 町内での催し物の情報を入手する。		
46		本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができている	A. 十分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	自分の役割を認識できており、待ちきれない様子で洗濯物たたみを日課とされている方もおられる。声を掛ければ食器洗いやテーブル拭き、新聞折り等それぞれできることを楽しみながらされている。			
47	本人が持つ力の活用	本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができる	A. 十分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ラジオ体操や愛南口腔体操を日課に組み入れ、本人の出来る範囲で行う時や、カラオケ好きな方は、ここぞとばかり美声を張り上げる時、面会時や職員との会話の中での表情等、活き活きとされている。		A. 十分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	昔話や自慢話ができることは良いと思う。
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない Ⓓ. ほとんどできていない	コロナ禍のため、地域の人との交流ができていない。	以前は知人や友達が尋ねて来て、カラオケや食事等と一緒に掛けることもあったが、今はコロナ禍で面会のみとなっている。 ケーブルテレビで地域の情報も分かり、知っている人や地元の人が出たりするため、皆で楽しむと良いと思う。		
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができる	A. 十分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	言葉で自分の思いを伝えることが出来なくても表情から、安心して生活できることが伝わる。家への思いがかなり強い方もいるが、毎食時「美味しかった。いくら払ったらいいの。」と言われ、感謝の気持ちが伝わってくる。コロナ禍のため地域の方との関わりを持つ機会は提供でき	すごく細かいところまで、気をつけてもらっていて安心しています。(ご家族) 皆さんが皆さん満足してもらっているかと言われれば、必ずしもそうではないと思うので、以前のようにご家族へアンケートを取り、意見を反映できるようにしたい。	A. 十分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員を信頼し、施設で生活できるのが一番だと思う。

				なかったが、心穏やかに生活していただいていると思っている。	契約時の時にホーム内の写真や動画を撮り、見ていただく。またリモート面会時にもお部屋の様子やリビング等周りの様子を見ていただく。		
--	--	--	--	-------------------------------	---	--	--